ゲタの上にも三千年
大使館新報 春気

ゲタゲタ通信

あらすじ　続き

だからボディバランスクラブではマット運動もやります。甲野先生のすすめている受け身の練習もみんなでしました。それにゲタに「乗って」さえいれば、バランス感覚も養われて、良い事づくめです。陽子はどこにでもゲタに乗っていくようになりました。もはや陽子にとってゲタは乗り物です。実家の母なんて、「あんな足音で歩くのは陽子しかいない」と、家の中から解るほどです。しかしなぜ、陽子はゲタにここまで惹かれるのでしょうか。昔から好きだったお祭り、甲野先生、ゲタ。陽子が愛してやまないこれらに共通するキーワード。それは「天狗」。そんな折に大きな天狗を祭っている神社のある町の小学校から交流したいというラブコールをもらったりと、天狗との縁を強く感じていきます。

しかしその一方で生来の凝り性がたたり、仕事は雪だるま式に膨れ、授業中に眠りこける始末。体調も崩しがちとなり、ゲタに乗る足も重いある日に陽子は学校を辞める事を決意しました。年度末のボディバランスクラブの発表会は、悔いの残る結果となってしまい、生徒や同僚達からも惜しまれましたが、一度やると言ったらきかない陽子は、想い出深いK小学校をあとにします。

去年までは新入生を迎えていた春、陽子はとりたてて仕事もなく、あてのない生活を送ります。しかし常につきまとうのは「天狗」の影。夏に訪れた祭りも、鞍馬山の天狗や牛若丸が主題でした。自分のルーツには何らかの形で天狗が関わっているのではないか…。そう思い至る陽子に、天狗の導きか、思わぬ誘いがかかります。

ニューヨークに住む霊能者に見てもらいに行こう、と言うのです。もともと前世や精神世界に興味のない陽子でしたが、この時はその話に乗りました。

はじめてゲタで降り立つNY。さすが外国人はリアクションが派手です。現代美術館で隠し撮りされたり、突然、すそをまくり上げられて足下を覗き込まれたり、大爆笑されたりと、陽子のゲタは大注目を浴びるのでした。

そして、目的の霊能者は陽子にこう告げました。「あなた、2003年に大きな出会いがありましたね」

…ゲタに乗り始めた年です。

「あなたの前世は、モンゴルから東ヨーロッパにかけて旅をしていた人物のようです」

モンゴルから東ヨーロッパ??マルコ・ポーロやジンギスカンにまつわる人物でしょうか。

解けぬ謎を抱えながら、陽子は更に足を伸ばして友人の住むアラスカに向かいました。

アラスカでもゲタです。ゲタで氷河に到着し、記念撮影をする陽子。現地で出迎えた友人が言うには、陽子が訪れるにあたって、いくつも小さな奇蹟が起きて、楽しい日々を過ごす事ができたと言います。「ヨーコ、君はいろんなことを可能にしてくれた。感謝する」

ついにゲタで氷河まで来た陽子。前世も旅人だったとの事です。わたしはどこから来てどこに行くのか。でもK小学校での日々も懐かしく思えて来ます。子どもたちに何かを伝える、という仕事に戻りたくなってしまいました。というか、先生という職業は不器用な陽子が唯一、楽しくできた仕事といってもよかったのです。陽子の「役目」はゲタを履いて何かを伝えるという事なのか。そんな折り、帰国した陽子は「ゲタゲタ通信」を書くきっかけとなった人物、中島さんに電話したとき、はたと納得しました。

私の前世は、ゲタだ。鞍馬山で天狗から牛若丸に授けられ、義経とともに戦い、共にモンゴルに逃れ、義経がジンギスカンとなった後にも常にその傍らにあったゲタ。

本当かどうか解りません。でも陽子はその前世に至って満足しました。

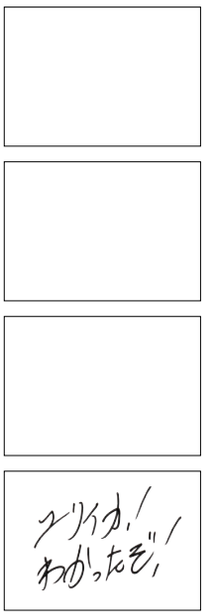
でも生活は何も変わりません。いつかK小学校に戻ろうと思いつつも、先の定かではない日々を過ごします。陽子は相変わらずゲタで歩き、小さな珍事件を巻き起こし、ゲタゲタ通信はまだまだ続くのです。

（あらすじ&編　北川貴英　二〇〇六年七月）

4コマまんがすごいよ!!ようこさん

第1話

■アラスカ事件■



わたしの前世はゲタだったのだ!たぶん

昨日今日明日の天気

北の風　風力3　雪
1019ヘクトパスカル

立春を過ぎただけのことはあります。陽の光など春の気配をそこここに感じる今日このごろですが、気温はもっとも低い時期。季節と温度は元々関連なかったことやその時代をおもいだす良い機会となるでしょう。しかし冬将軍が来ているような寒さです。大雪で本日の講座に来れなかったお客様に、近いうちに会えますよう。

一本ゲタ占い

２月のあなた：春の嵐が吹き荒れるのですが、それは自分が(そこへ行きたかったことも)知らなかった、行きたいところへ行くことになる、花が咲く時間へと続きます。

来月のあの日

来月14日は何の日かご存知でしょうか。それぞれの方にとって色んな日だと思うのですが、ここでは π（円周率パイ）の日であるということをご紹介いたします。3月14日のパイの日には是非まるいパイを食べてみましょう。ちなみに6月28日を τ（タウ）の日と言って τ を愛している方は盛大に祝うそうです。何を食べるのかな？大使が考えたのは「もりたうどん定食」です。moriタウ丼。かつ森田うどん。うどんの乗ったどんぶり飯は如何でしょうか。定食ですからもちろんお盆にも乗っています。

2003年　秋
ゲタ先生 歩き始める

2003年8月29日(金)

一本歯のゲタを履くようになってまだ4日目ですが、最初からいきなり歩いて毎日出勤したりご飯を食べに行ったりして気に入ってやめられません。

この辺りには人混みはないし、階段を使うようなビルもないので気をつけるのは、スーパーの中くらいです。

自転車にも乗れてしまった。歩くって倒れながらなんだなーと、やっとわかるようになりました。ただ立っている方がむずかしい。

（つづく）

ひと足お先に ゲタひとあし分
おしらせコーナー
今池凸凹大学校
第2限目「数学」

◆今池商店街主催　※詳細は別紙
【講師】森田真生
【日にちと時間】
二〇一四年三月二十九日（土）
19時～21時
【会場】千種文化小劇場「ちくさ座」
（地下鉄吹上駅7版出口より徒歩3分）

一本ゲタ大賞募集中

森田真生さんの演奏会や講座に参加されたご感想をお寄せください。大賞の方は次回無料ご招待。